

# 全国英語研究協議会資料

令和5年3月11日  
全国商業高等学校協会英語研究部

## 1 令和4年度第68回・第69回英語検定実施報告

### (1) 第68回検定について

第68回英語検定は9月11日(日)に実施いたしました。実申込者数は57,706名と前年度の56,111名を上回りました。新型コロナウイルスによる学級閉鎖等での検定中止は2校、暴風雨による検定中止は1校でした。9月検定は令和2年より申込者数が増加しております。

### (2) 第69回検定について

第69回英語検定は12月18日(日)に実施いたしました。実申込者数は44,532名と前年度の49,325名を下回りました。新型コロナウイルスによる学級閉鎖等による検定中止は11校でした。例年、12月の申し込み者数は少ない傾向にあり、前年度と同様に今回も5万人を下回りました。

## 2 令和4年度英語研究部事業報告

### (1) 実用英語セミナー

今年度は、8月3日から3日間にわたり、全商会館にて参集形式で開催されました。今年度より免許状更新講習がなくなったことにより、申込者数が減少いたしました。

### (2) 英語スピーチコンテスト

令和4年9月18日、明治学院大学白金キャンパスにおいて開催されました。レシテーションの部で47名、スピーチの部で46名の生徒が出場いたしました。

例年、全商会館にて実施しておりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、全商会館よりも規模の大きい会場をお借りして実施いたしました。

### 3 第68回・第69回英語検定問題考察

#### (1) 第68回検定(9月)

##### ① 1級

[Listening/Speaking 領域] (第1問～第6問) について

##### 第3問

a について、正答率は 6.3%と低い結果となりました。これは **How come?**の理解の定着不足が原因だと思われます。

##### 第5問

内容が難しく、分量も多いので難しいと指摘がありました。読まれる英文量は例年並みですが、選択肢の英文がやや長かったと考えます。精査を行い、改善してまいります。

##### 第6問

a と e は聞かなくとも類推できるとのご指摘がありました。e の正答率は 81.5%と高いものでしたが、他の 3 つの選択肢はいずれも可能性があり、会話全体を聞いたうえで解答する必要があります。

[Reading 領域] (第7問～第9問) について

##### 第7問

a の選択肢について、**not similar to** がわかりづらいとのご指摘がありましたが、正答率は 74.5%と高いものでした。

##### 第8問

オフィスでの電話対応としては会話内容が少しカジュアルな表現が多いなどの指摘がありました。より適切な場面設定となるよう精査していきたいと思えます。

[Writing 領域] (第10問～第12問) について

##### 第10問

d について、答えの **In addition** と同文中の **also** が重複するので、答えが選びにくいとのご指摘がありました。**also** があることで答えを導くヒントになるだろうという出題意図がありました。

## 第12問

a について、**strengthen** という単語は2級語彙 **strength** の派生語なので、1級の出題語彙として扱いました。a の現在完了進行形については、簡単すぎるというご意見がありました。全体の正答率は **62.2%** で適切であったと思われます。

b の **not so much A as B** と d の **one of his most** は、確かにどちらも「比較」の問題ではありますが、前者は構文系で後者は熟語系なのでいくらか違いはあると判断して出題に至りました。また、c と d はどちらも「分詞の前置修飾」の問題ではありますが、c は現在分詞で d は過去分詞なので、そこに違いを見て出題させていただきました。しかし、より明確に文法事項が重複しない出題を目指します。

e の **The marriage of her daughter was what made them happy last year.** の文は、**was what** を削除した方が自然な英文ではないかというご意見ですが、1級の問題の難度の担保のため、使役の **made** に加えて、あえて関係代名詞の **what** も絡ませた出題を考案しました。

## ②2級

[Listening/Speaking 領域] (第1問～第6問) について

### 第3問

a と d の問題において、イラストや図が分かりにくいという指摘がありました。特に d に関しては、正答率が **35.6%** と低かったため、より受験者に視認しやすいものとなるように、改善を図っていきたいと思います。

### 第4問

e の問題において、設定が不自然であるという指摘がありました。正答率で、**56.6%** でしたが、より適切な場面設定となるよう精査していきたいと考えています。

### 第5問

全体として選択肢の英文が長く、また、受験生にとって状況が分かりづらい(判断しづらい)という指摘がありました。c と e の問題が、(c) **23.8%**、(e) **27.9%** と低い正答率となっています。c は正答の **“bike to ~”** の表現が受験生にとって馴染みがない点、e が時間計算を必要としている点が原因と考えられ、今後の問題作成において改善を図っていきたいと思います。

[Reading 領域] (第7問～第9問) について

第7問

a と b について、問いの内容が似ているとの指摘がありました。より適切な作問に向け改善いたします。

第9問

c について、違う内容の例文で出題した方が良かったとの指摘がありました。e について、答えの選択肢に少し工夫があったら良かったとの指摘がありました。正答率は c が 26.8%、e が 27.2%とどちらも低く、より適切な作問を目指して精査してまいります。

[Writing 領域] (第10問～第12問) について

特になし

③ 3級

[Listening/Speaking 領域] (第1問～第6問) について

第2問

難易度が高い問題が並んでおり、5問のうち2～3問は易しめのものを入れてほしいとのご指摘がありました。正答率は aが69.1%、bが80.3%、cが69.9%と最初の3問に関しては比較的平易な問題でした。eについては正答率が9.8%と極端に低いものでした。誤答がWhetherの節中の主語と述語の区切りである②に集中していました。Whetherが導く名詞節の理解が定着していなかったように思います。

第3問

eについて、2文に分かれているため、文脈的に一意に定まらないのではないかと指摘がありました。正答率が(a)～(c)が8割弱であるのに対して、30.3%と低い結果となりました。2文であったため、受験者の間で出題の意図の誤解があったためであると考えられます。

第4問

dについて、読まれた英文では女の子についての説明があったが、イラストでは男の子が書かれているとの指摘がありました。一見してイラストの内容がわかるよう、わかりやすいイラストの選定を行い、より良い作問に向け改善してまいります。

[Reading 領域] (第7問～第9問) について

第7問

注釈が多すぎるとのご指摘が複数ありました。全体の正答率は57.7%でしたが、今後、注釈が多くなり過ぎないように注意いたします。dについて正答が2つ存在するとのご指摘がありましたが、①の **she bought a computer** は退職の直前であったため、退職後に何をしたかという問いの正答とはならず、②のみが正答となります。

第8問

全体的に状況がつかみづらいとの指摘がありました。正答率が34.5%と低く、より適切な作問を目指して精査してまいります。

第9問

イラストが分かりづらい等などの意見がありました。イラストが話の順番に並んでいることなど総合的に判断していただければ、と思います。今後もビジネスシーンを頻繁に出題していこうと考えています。

[Writing 領域] (第10問～第12問) について

特になし

(2) 第69回検定(12月)

① 1級

[Listening/Speaking 領域] (第1問～第6問) について

第3問

問題構成に対して、問題の難易度を a から順に難しくして欲しいと指摘がありました。作問の際に、a の問題の難易度を低く作成していますが、今回は b の正答率や c の正答率より低い結果となりました。a の問題では付加疑問文が使われているため、負荷が高かったことが原因であると考えられます。

第4問

c について、正答率が5.9%と低い結果となりました。「いつサンドイッチを食べたか」を問う問題に対して、「運転中に食べた」をヒントに、「車で食べた」を導き出す問題です。誤答が多かった選択肢として、サンドイッチをもらった「仕事場」を解答する受験者が74.9%と高い結果となりました。

#### 第5問

リスニング問題として、内容も難しく、選択肢の分量も多いので難しいと指摘がありました。読まれる英文量は例年並みですが、選択肢で使われる分量が多く、解答し難い問題であったと考えます。

#### 第6問

難しい内容、題材であるのに対し、選択肢が長く、難易度が高いとのご指摘がありました。全体の正答率は第68回が66.5%であったのに対し、第69回は50.1%でした。会話自体の長さはほぼ同程度でしたが、選択肢に限っては第68回のほうが長いものでした。bの正答率が14.6%だったことから、会話全体の内容を把握できなかったと考えます。

#### [Reading 領域] (第7問～第9問) について

特になし

#### [Writing 領域] (第10問～第12問) について

##### 第12問

語と語の接続部分のみで正解を出せる問題が多いというご指摘は、熟語に関する出題傾向が強いという意味だと解釈します。多様な項目からの出題になるように、さらなる作問研究をさせていただきます。

### ②2級

#### [Listening/Speaking 領域] (第1問～第6問) について

##### 第3・4・5問

第3問(b)、第4問(c)、第5問(a)と計算が必要な問題が多いのではないかと[特に第3問(b)は、掛け算、足し算、割合の計算となっていて受験生に負荷が高い]という指摘がありました。それぞれの設問では、46.1%、41.6%、45.1%と正答率が4割台という結果になっています。今後も、簡単な計算を含む問題は扱っていくこととなりますが、全体的な中身のバランスや、計算の程度を精査しながら、作問をしていきたいと考えます。

[Reading 領域] (第7問～第9問) について  
特になし

[Writing 領域] (第10問～第12問) について  
特になし

③ 3級

[Listening/Speaking 領域] (第1問～第6問) について  
特になし

[Reading 領域] (第7問～第9問) について  
特になし

[Writing 領域] (第10問～第12問) について  
特になし

## 4 試験の実施について

### (1) 関係書類集について

令和元年度より、全検定試験共通のものとなっております。各試験場校・分会場校に各2冊お送りしています。全商協会のホームページよりPDF形式でダウンロードすることも可能です。ダウンロードの際に必要なパスワードは、関係書類集の送付書に記載しております。ご不明な場合は、全商協会へお問い合わせください。

### (2) 問題の送付・受領について

第68回検定の際に、送付書の記載に誤りがございました。「監督者指示書」1枚、「CDの取扱い注意」1枚と記載しておりましたが、正しくはその2つを合わせてA3用紙1枚に印刷したものでした。大変申し訳ございませんでした。次回以降は、様式はそのままに、送付書の表記を「監督指示書及び各種取扱い注意について」としてお送りいたしますのでご了承ください。

### (3) マークシートの記入について

受験番号・氏名・生年月日の欄で記入ミスが多いようです。マークの指示については、監督指示書に記載がございますので、試験開始15分前に必ず監督指示書を読み上げていただき、改めて書き方の周知をしていただくようお願いいたします。

全商協会としてローマ字表記の指定はしておりません。関係書類集にローマ字表記一覧を記載しておりますが、一般的な例を示しているものとなります。基本的には受験者本人が通常用いる、受験者本人が合格証書に記載してほしい表記で氏名をマークしていただきます。それにより、ふりがなが間違っていた場合は、お手数ですが、全商検定 Web システムの「合格者データ一覧・採点結果一覧」において修正をお願いいたします。

### (4) 集荷・マークシートの返送について

マークシートの集荷について、関係書類集 (p.20) にはヤマト運輸サービスセンターへ電話で集荷を依頼するよう記載がございます。しかし、AIの自動音声による対応となっており、うまく集荷が出来なかったとの意見をいただきましたので、今年度より Web での集荷を推奨しております。検定試験問題に同梱の文書ではすでにご案内しておりますが、来年度の関係書類集にも Web 集荷の方法を記載いたしますのでご覧ください。

また、Web 集荷について「来るのが遅い」「希望の時間が選択できなかったのも、コンビニへの持ち込みも可能にしてほしい」というご意見をいただきました。重要な答案ですので、全商協会としてはコンビニへの持ち込みは許可しておりません。Web 集荷で希望の時間が選択できない場合は、お手数ですが電話での集荷をお願いいたします。

(5) 「合格者データ一覧」について

「マークシートでは生年月日を和暦で記入するのに対して、西暦で処理されることに、チェック上の手間とリスクを感じる」という意見をいただきました。生年月日につきましては、合格証書には西暦で記載されますが、合格証書発行前に検定 Web システムでご確認いただく「合格者データ一覧・採点結果一覧」の画面では、和暦と西暦のどちらも表示されますので、そちらでご確認ください。

(6) 「採点結果一覧」について

「採点結果を個票として生徒に渡したい」というご意見をいくつかの県からいただきました。今後検討いたしますが、これについてご意見がございましたら、次回の検定アンケートにご記入ください。

(7) 「合格証書」について

「生徒の氏名を漢字表記にしてほしい」というご意見がございました。令和 6 年度の全商検定 Web システムのリニューアルの際に検討いたします。こちらにつきましても、ご意見がございましたら次回の検定アンケートにご記入ください。

(8) 検定試験「正解」の同梱について

従来、検定試験の「正解」を出力したものを合格証書に同梱し、各試験場校に発送していましたが、来年度から廃止いたします。「正解」については、検定試験翌日に全商協会のホームページにアップされますので、ホームページにてご確認ください。

(9) 分会場校への試験問題及びマークシートの発送について

マークシートは試験問題が入っているカラー封筒の中には同封されておらず、マークシート返送用のダンボールの中に入れて送られます。分会場校を抱える試験場校の先生方には大変お手数をおかけいたしますが、ダンボールの中から分会場校分のマークシートを取り出し、試験問題と一緒に分会場校へ発送していただくようお願い申し上げます。

(10) 新型コロナウイルス感染症への返金対応について

新型コロナウイルス感染症は学校感染症と同一の対応となります。新型コロナウイルス感染症により学級閉鎖・学年閉鎖・学校閉鎖の場合には検定料を返金いたします。その場合は、検定日当日朝 9 時までに本部校を通して全商協会までご連絡ください。

※学級閉鎖・学年閉鎖・学校閉鎖以外の返金はありません。

## 5 令和5年度第70回・第71回英語検定について

第70回英語検定については、令和5年9月10日（日）に、第71回英語検定については令和5年12月17日（日）にそれぞれ実施予定です。

## 6 令和5年度の英語研究部事業について

### (1) 実用英語セミナー

8月2日（水）より3日間で実施予定です。

### (2) 英語スピーチコンテスト

9月17日（日）に実施予定です。実施要項を3月下旬に連絡理事校宛に発送いたします。

#### 【出場資格について】

全国商業高等学校長協会の会員校在籍生徒であること

※レシテーションの部は、英語を日常語とする国に6カ月以上の滞在期間がある者、スピーチの部は、英語を日常語とする国に1年以上の滞在期間がある者は出場できない。

※過去に全国商業高等学校英語スピーチコンテストにおいて、優勝した者は、優勝した部門にエントリーすることはできない。なお、レシテーション、スピーチの両部門を兼ねてエントリーすることはできない。